

兵庫県のり漁場環境情報（東播海域 臨時 号）

2026年1月21日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、キートセロス等、多種の珪藻類がやや多くなっており、海域西部ほど多い状況です。窒素は、海域地先で1～4 $\mu\text{g at/L}$ 台、大阪湾の海水の影響が見られる林崎新漁場沖筋で1～2 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の地点で概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.9℃（平年比1.0℃、昨年比1.2℃ともに高い）。

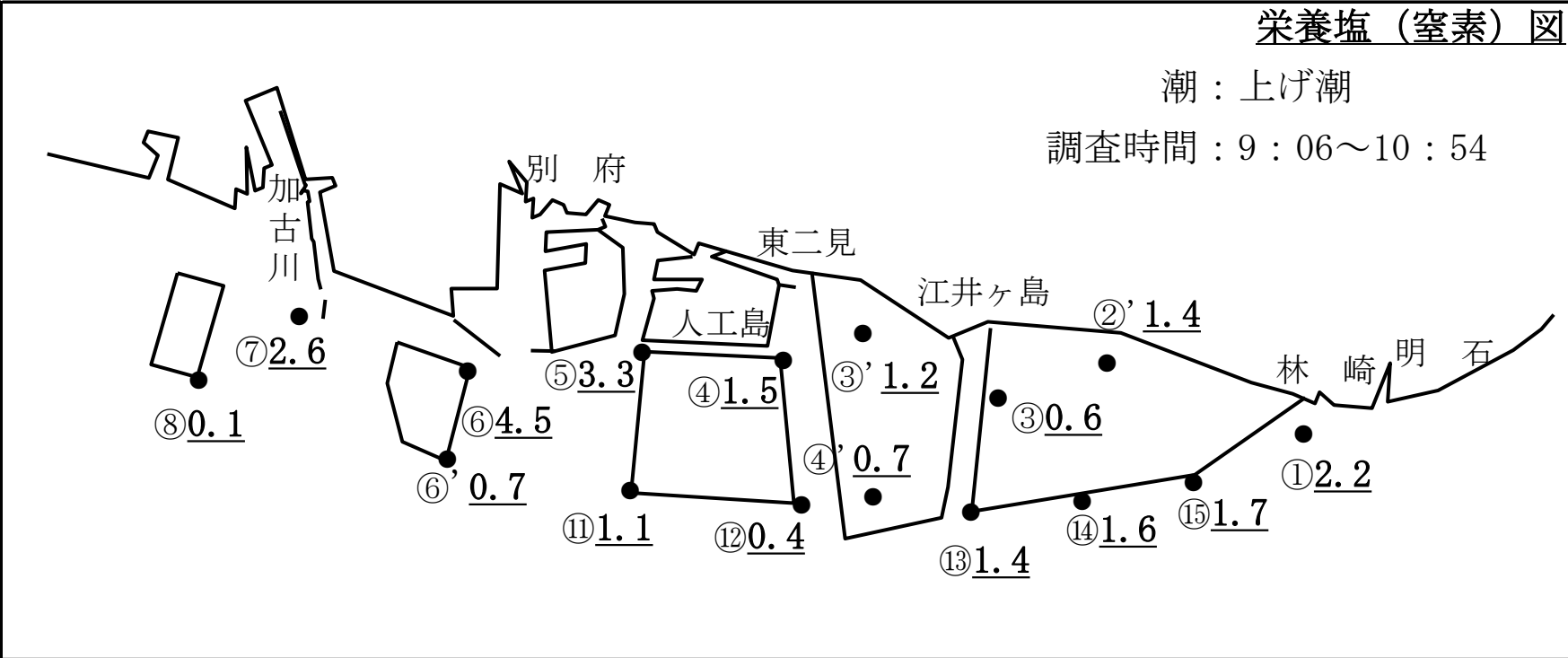
(珪藻)
海域全般に、多種の珪藻類がやや多くなっており、ユーカンピアは、前回(1/16)同様、全域で確認されるようになっているが、増加は見られない。また、高砂漁場⑧ではキートセロス等、珪藻類が多く確認された。
海域地先（⑤⑥⑦）では、陸水の影響が見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水 温	10.7	10.9	9.9	9.7
窒 素	1.5	1.5	3.9	4.0
リ ン	0.35	0.34	0.43	0.49

(1/16) (1/22)

※窒素の平均
は⑥を除く

2026年1月21日調査
栄養塩（窒素）図



水温図

